

平成 22 年度 大学職員情報化研修講習会～応用コース～

平成 22 年 11 月 10 日（水）～12 日（金）

第 1 分科会 第 1 グループ 討議内容

【事前討議】

第 1 グループでは、討議を行うにあたり、まずメンバーの各大学におけるポートフォリオ・学生カルテの導入あるいは検討状況について相互確認した。

その結果、導入済みの大学はなく、各大学とも導入を検討している段階か、あるいは学生カルテを各部署で個別に運用しているといった状況であったため、まずはポートフォリオ・学生カルテとはどういったものなのかを話し合い、各自の認識を統一した。

【学生カルテとポートフォリオについて】

- ・学生カルテは学生救済の意義が大きい側面がある
- ・学生カルテは格納するデータがきめられている大学が多い。ポートフォリオはなんでも掲載する
- ・入力された情報と、情報を閲覧する側の印象が異なるという問題が出てきている。選択式や自由記述など、大学により違いがある
- ・ポートフォリオは中間層の自立を促す。学生の自由に任せる大学が多い。ゼミや課外活動、留学やボランティア活動など
- ・システムの形態としては、学生カルテは出欠管理システム等、ポートフォリオは LMS、SNS 等も含まれる

これらの違いを検討した結果、ポートフォリオは教員主導で動く必要があるという点、ポートフォリオは各大学において、学生と教員が成長させ作り上げていくものであるという点を考慮し、直近の問題として学生カルテに主眼を置くことにした。

【なぜ学生カルテを必要と思うのか】

学生カルテを主題とするにあたって、まず根本的に、なぜ学生カルテが必要なのかという点について、それぞれの思いを語り合った。

- ・学生の多様化が急激に進行し、対応に配慮が必要な学生が増えた
- ・多様な入試方法により学力に見合っていない学生が入学してきている
- ・保護者からの問い合わせやクレームに即座に対応する必要がある
- ・大学の学生指導力の向上
- ・成績不振者へのきめこまやかな対応・指導、気づき・成長を促す
- ・大学にきめ細かいサービスが求められている

以上のような意見から、以下の必要性を確認した。

→学生カルテはあくまで学生支援の手段であり、学士力の向上という観点とは関係なく必要なものである。

→学生カルテがあれば問題が解決するわけではないが、まずスタートラインに立つために必要な情報を持ちたい。

【学生カルテの目的とは】

前述の必要性を個別に項目として分類したところ、次の3点になった。

- ・学生ニーズ：指導の促進、成績不振者のフォロー、キャリア形成支援
- ・保護者ニーズ：学修情報の提供、クレームに対する真摯な対応→安心感を与える
- ・教職員間の情報共有：背景として、教職員が学生の情報が見えない、教職員が学生・保護者を盪回しにしてしまっている、という点がある。

これらの項目の関係性に注目し、次のとおり第1グループが考える学生カルテの目的を定めた。

「学生・保護者のニーズを充たすために、情報共有の在り方を考え実現することで、大学の指導力を向上させる。」

【学生カルテに記載すべき内容は】

目的を定めた後、それに沿った理想の学生カルテにはどのような情報が記載されるべきか検討した。

※項目詳細は発表資料（PPT）参照

これらの項目には、手入力が必要な項目や、教員が介入する項目など運用が難しいものがあり、また閲覧制限が必要な項目など、各大学で状況が異なるため学内での十分な検討が必要であるという意見にまとまった。

【学生カルテ運用に必要なものとは～今後の課題～】

前項で述べた学生カルテを運用するにあたって、どういった課題があるかを確認した。

- ・前提として、個人情報や大学外に出てしまっていて初めて保護できていないという点についてコンセンサスを得て、情報の一元化を図る
- ・学内委員会を設置し、閲覧権限や情報公開の範囲について、詳細に決めておく必要がある
- ・前述の項目をすべて学生カルテに含むには、教職員のより一層の個人情報保護に関する研修が必須
- ・入力する内容には個人的な感情を排除した客観的な記述が必要
- ・情報を知った上で、どう学生を支援するか情報利用者側の教育が必要（先入観を持つてはいけない）

以 上

《第1グループメンバー》

日本電気株式会社 文教・科学ソリューション事業部 延岡泰之

皇學館大学 大学事務部学務課 川合一禎

広島工業大学 事務職員 川口雄作

桃山学院大学 情報センター事務課 西川孝仁（討議進行）

北里大学 薬学部事務室 阿部祥子（発表・書記補佐）

同志社大学 理工学部工学研究科事務室教務係 徳間篤史

東海大学 学部支援課 横田和美

甲南大学 教務部 高野重成（書記・発表補佐）